

登録コード	T2A08300	開講年度	2026			
授業科目	電子情報システム特別講義(20T以降)				担当教員	曽根原 誠
英文授業名	ECE Special Lecture				副担当	笹森 文仁
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学生
講義室	工W2-101教室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	今まで修得してきた専門知識と関連付けながら、各教員の研究内容を説明できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	学科教員による研究紹介を通じて今まで修得してきた専門知識がどのように役立ちそうか考える機会を設ける。また、外部講師による講演や、大学院への進学状況や就職の状況などに関するガイダンスを通じて、最新の技術動向や当該分野の社会的な状況を知る機会とする。今まで学習してきた専門力の必要性・重要性を改めて認識し、自身の将来を考えた場合と場合とに不足していると思われる知識を新たに学ぶあるいは復習することを目的とする。					
(5)授業計画	第01回 ガイダンス 第02～11回 電子情報システム工学科所属の約40研究室の研究紹介 1回当たり25～30分／研究室×3～4研究室 第12回 外部講師による講演会Ⅰ（電気電子に関する内容） 第13回 外部講師による講演会Ⅱ（情報・通信に関する内容） 第14回 電子情報システム工学科の学生に望まれること1（大学院進学について） 第15回 電子情報システム工学科の学生に望まれること2（就職について）、授業アンケート ※上記の授業計画とは変わる可能性があるので、第01回ガイダンス時の説明をよく聞くこと ※オープンキャンパスの研究室紹介などにも積極的に出席すること					
(6)成績評価の方法	毎回提出される講義内容に関するレポートと授業態度により、成績を評価する。詳細は第01回ガイダンス時に説明する。 ※出欠の確認は、レポートと出席確認システムの両方を利用する					
(7)成績評価の基準	「水準にある」 講義の2/3以上に参加し、課されたレポートを受理された場合 「やや上にある」 講義の4/5以上に参加し、課されたレポートを受理された場合 「かなり上にある」 講義の全てに参加し、課されたレポートを全て受理された場合 「卓越している」 講義の全てに参加し、課されたレポートを全て受理、レポート内容のうち一つ以上で高い評価が得られた場合					
(8)事前事後学習の内容	1単位修得するには、45時間の学修が必要。 週1回の授業で2単位の授業（90時間の学修が必要） 授業時間30時間（2時間×15回）、自習学習時間60時間（4時間×15回） ●予習 予め講義に関する背景を自習し、レポート作成に反映させること。 ●復習 予習と講義で得られた情報を基に、得られた知見をまとめること。					
(9)履修上の注意	当該年度の詳細な計画はガイダンス時に連絡するので、必ず参加すること。 原則全回出席とする。					
(10)質問,相談への対応	緊急の連絡がある場合のみメール（makoto@shinshu-u.ac.jp および fsasa@shinshu-u.ac.jp）で受け付ける。					
(11)その他	当該年度より前に本科目の単位を習得した者は、当該年度以降に「情報通信特別講義」を履修することができない。 また、当該年度より前に「情報通信特別講義」の単位を習得した者は、当該年度以降に本科目を履修することができない。 学籍番号@shinshu-u.ac.jpのメールアドレスに届くメールを毎日確認すること。					
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	指定しない。					